

証券化市場の動向調査のとりまとめ

～2016年度の発行動向～

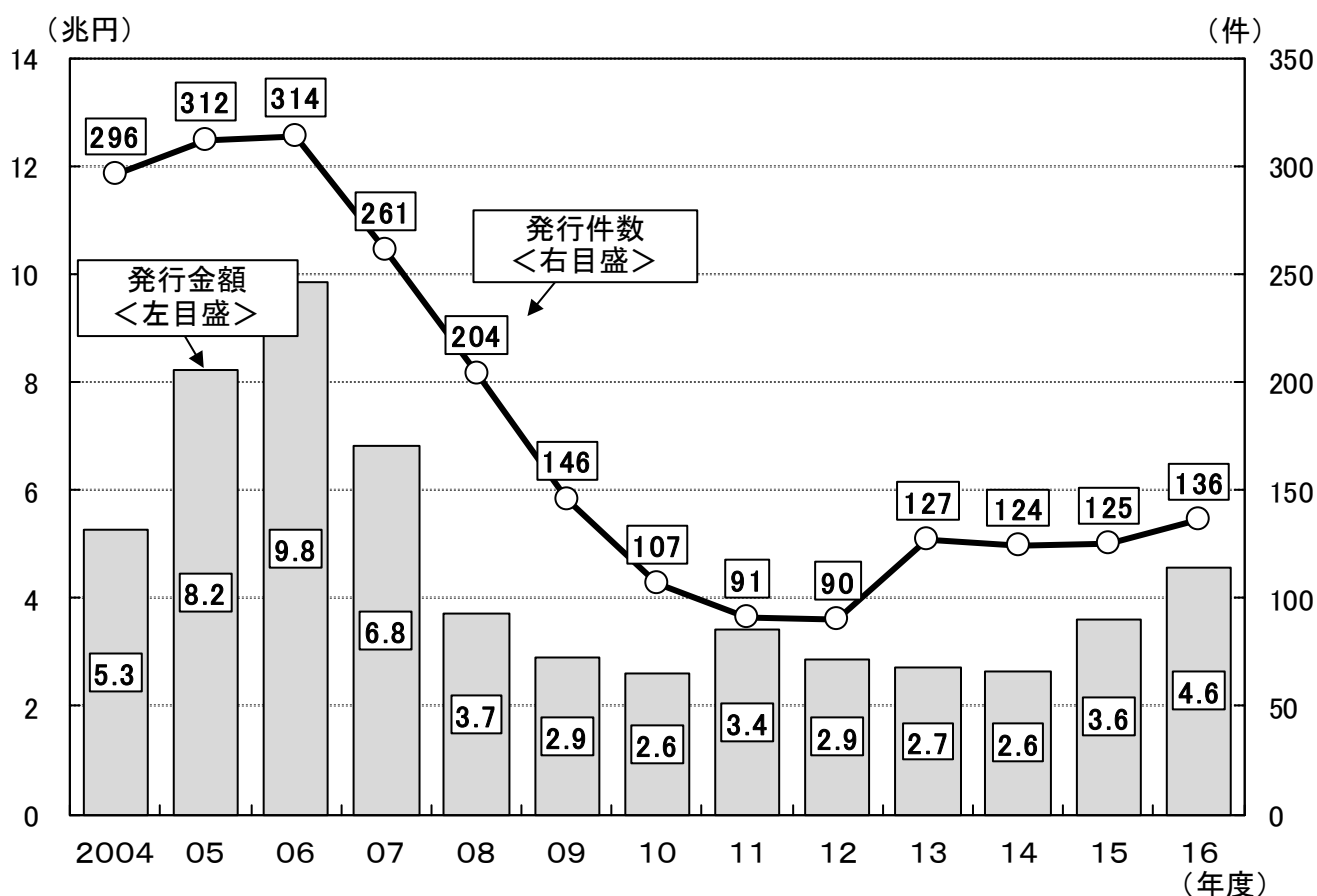
本調査は、日本証券業協会及び一般社団法人全国銀行協会が毎月実施している「証券化市場の動向調査」（日本証券業協会ホームページ<<http://www.jsda.or.jp/>>参照）について、2016年度（2016年4月～2017年3月）発行分の結果を取り纏めたものです。

なお、図表において使用する数値データにつきましては、別紙をご参照ください。

1. 証券化商品全体の発行動向

2016年度における証券化商品の発行動向をみると、金額、件数ともに前年度を上回り（金額4兆5,821億円<前年度比+27.0%>、件数136件<同+8.8%>）、2008年度以降で最も大きな発行金額となった（図表1）。

（図表1）証券化商品の発行金額・発行件数



（参考）普通社債の発行金額

（単位：兆円<2016年度分は暫定数値>）

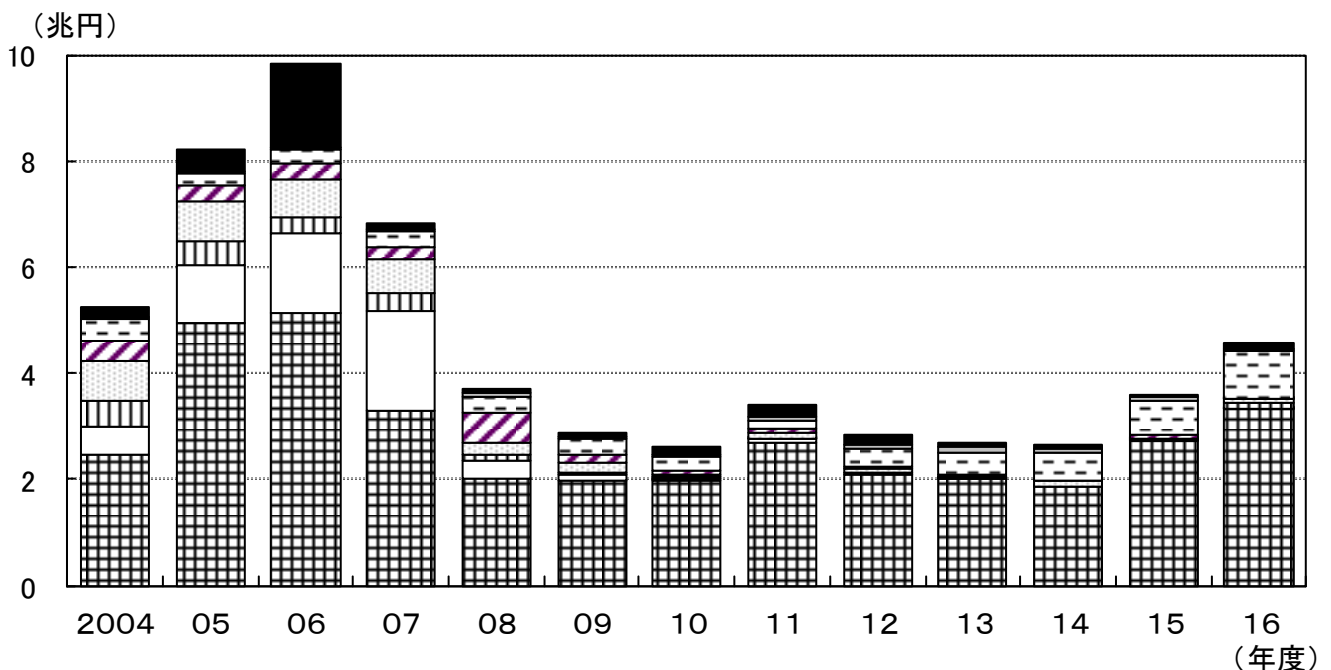
年度	2004	2005	2006	2007	2008	2009	2010	2011	2012	2013	2014	2015	2016
発行金額	5.9	6.9	6.8	9.4	9.6	10.3	9.9	8.3	8.2	8.1	8.7	6.9	11.4

2. 裏付資産別の発行動向

2016年度における証券化商品の発行金額（4兆5,821億円）を「裏付資産」別にみると、「RMBS」、「CDO」、「リース」、「ショッピング・クレジット」及び「その他」は、いずれも前年度比で増加し、「CMBS」、「消費者ローン」及び「売掛金、商業手形」は減少した。なかでも、「RMBS」はリーマン・ショック発生前である2007年度以降で最も大きな発行金額となった。また、「ショッピング・クレジット」は5年連続の増加となった（図表2）。

（図表2）証券化商品の「裏付資産」別発行金額

	RMBS	CMBS	CDO	リース	消費者ローン	ショッピング・クレジット	売掛金、商業手形	その他	合計
発行金額(億円)	33,257	4	1,335	604	80	9,068	444	1,028	45,821
前年度比(億円)	6,080	▲6	932	309	▲333	2,552	▲291	485	9,729
前年度比(%)	22.4	▲58.0	231.3	104.6	▲80.6	39.2	▲39.6	89.5	27.0
構成比(%)	72.6	0.0	2.9	1.3	0.2	19.8	1.0	2.2	100.0
発行件数(今期)	44	1	16	2	1	55	12	5	136
前年度比(件数)	1	0	10	▲1	▲1	6	▲4	0	11
前年度比(%)	2.3	0.0	166.7	▲33.3	▲50.0	12.2	▲25.0	0.0	8.8

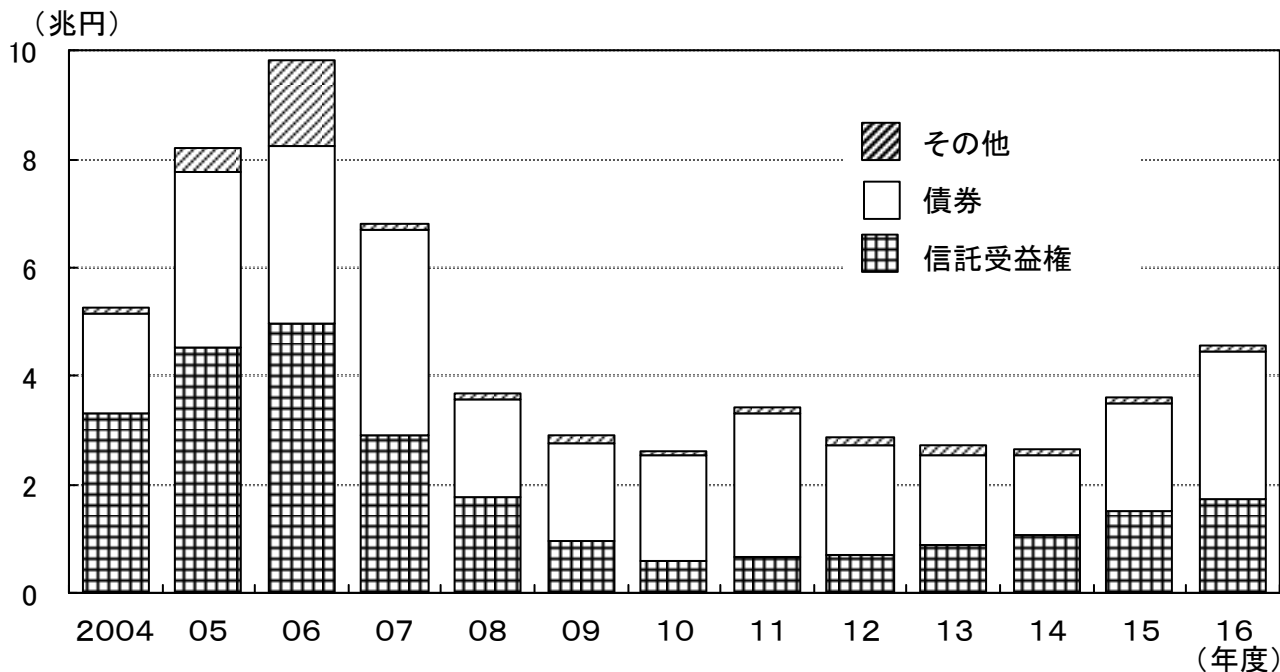


■ その他	基金債権、劣後ローン債権、事業キャッシュフロー、診療報酬債権等
■ 売掛金、商業手形	売掛債権、手形債権
■ ショッピング・クレジット	ショッピングクレジット債権、クレジットカード債権、オートローン債権
■ 消費者ローン	消費者ローン債権、カードローン債権
■ リース	リース料債権
■ CDO	(Collateralized Debt Obligations) 企業向け貸付債権、社債、CDS等
■ CMBS	(Commercial Mortgage Backed Securities) 商業用不動産担保ローン債権、商業用不動産
■ RMBS	(Residential Mortgage Backed Securities) 住宅ローン債権、アパートローン債権

3. 発行形式別の発行動向

2016 年度における証券化商品の発行金額（4 兆 5,821 億円）の「発行形式」別内訳をみると、「債券」が2兆7,264 億円（構成比 59.5%）と最も多く、次いで「信託受益権」が1兆7,184 億円（同 37.5%）であった。（図表 3）。

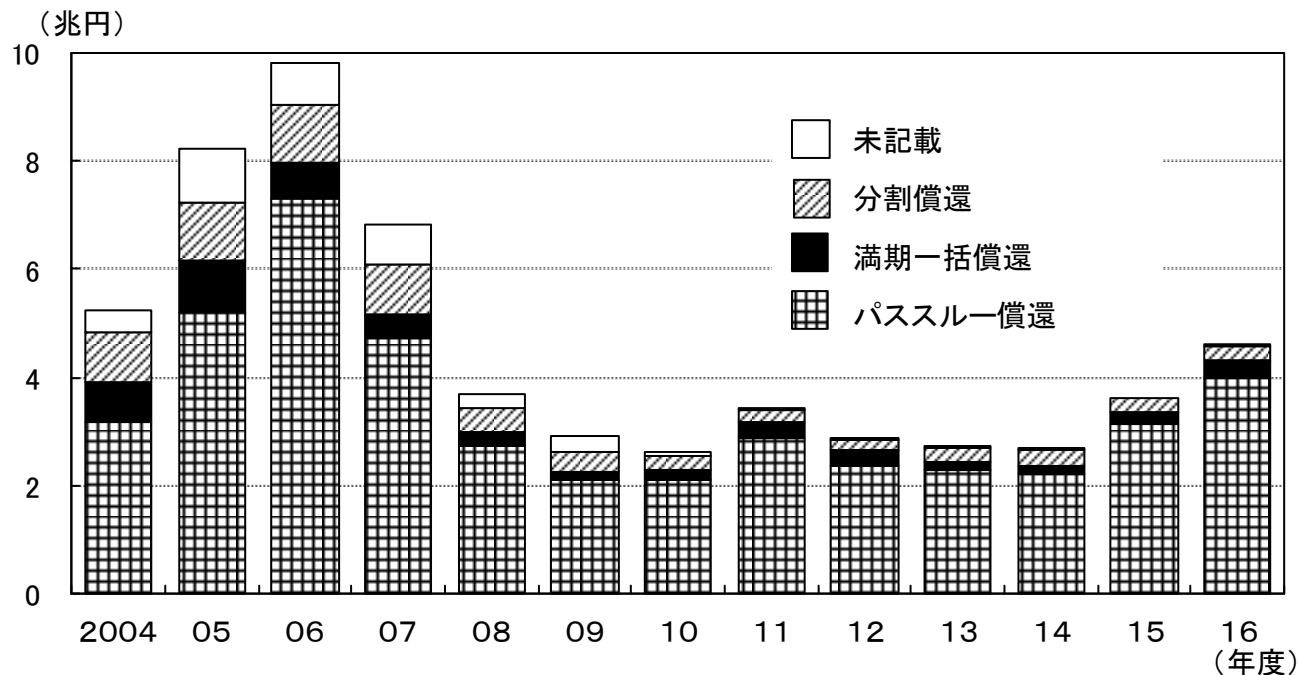
（図表 3）証券化商品の「発行形式」別発行金額



4. 償還方法別の発行動向

2016 年度における証券化商品の発行金額（4 兆 5,821 億円）の「償還方法」別内訳をみると、「パススルー償還」が3兆9,819 億円（構成比 86.9%）と最も多かった（図表 4）。

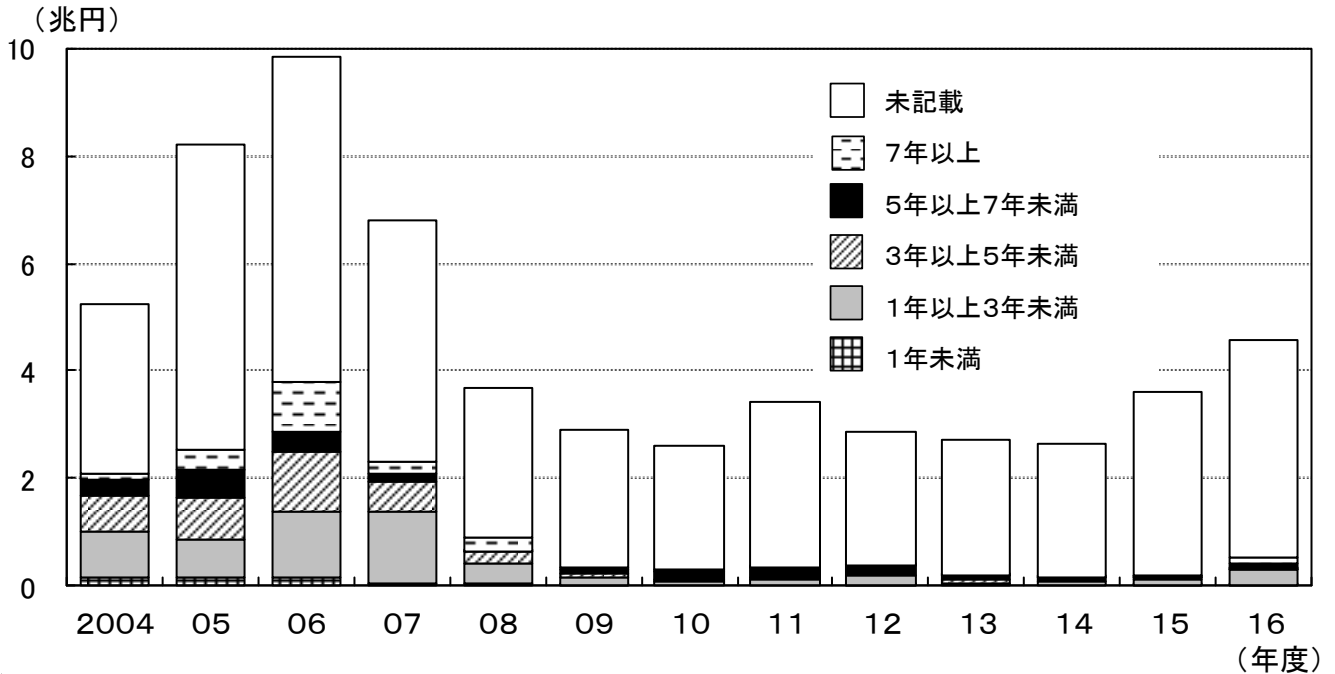
（図表 4）証券化商品の「償還方法」別発行金額



5. 予定／平均年限別の発行動向

2016年度における証券化商品の発行金額（4兆5,821億円）の「予定／平均年限」別内訳をみると、記載のある中では、「1年以上3年未満」が3,063億円（構成比6.7%）と最も多く、次いで「5年以上7年未満」が1,000億円（同2.2%）であった。（図表5）。

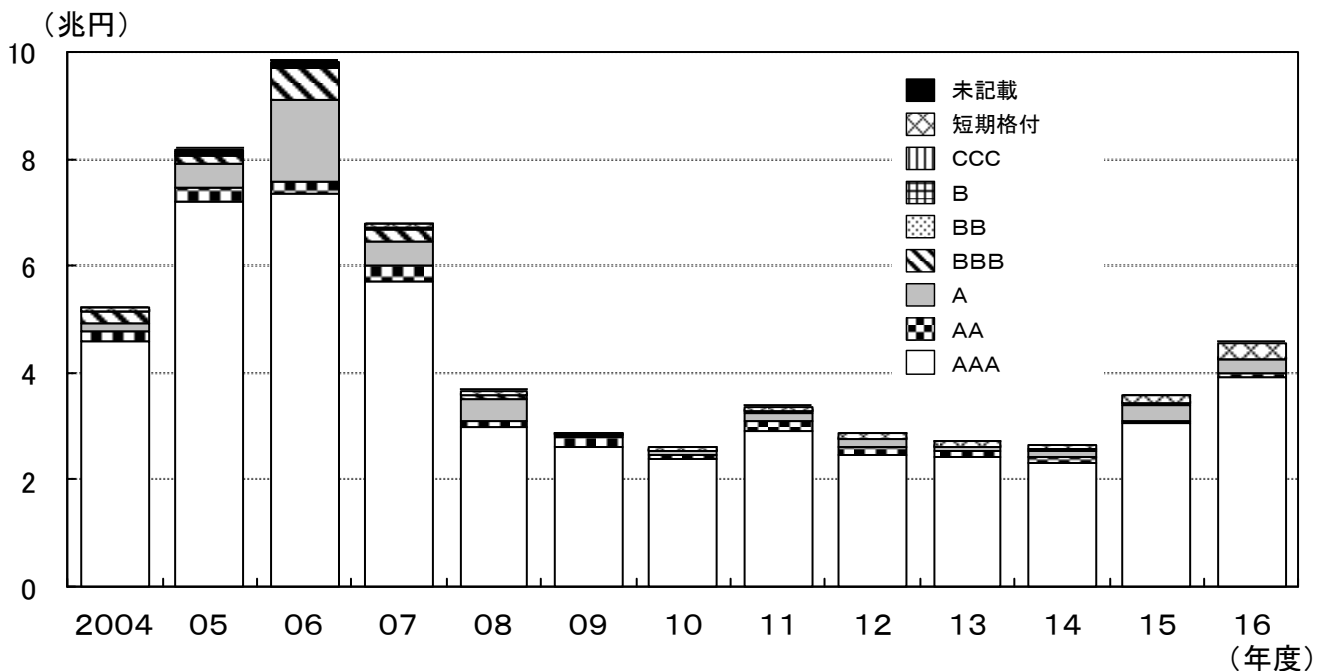
（図表5）証券化商品の「予定／平均年限」別発行金額



6. 格付別の発行動向

2016年度における証券化商品の発行金額（4兆5,821億円）の「格付」別内訳をみると、「AAA」が3兆9,347億円（構成比85.9%）と最も多かった（図表6）。

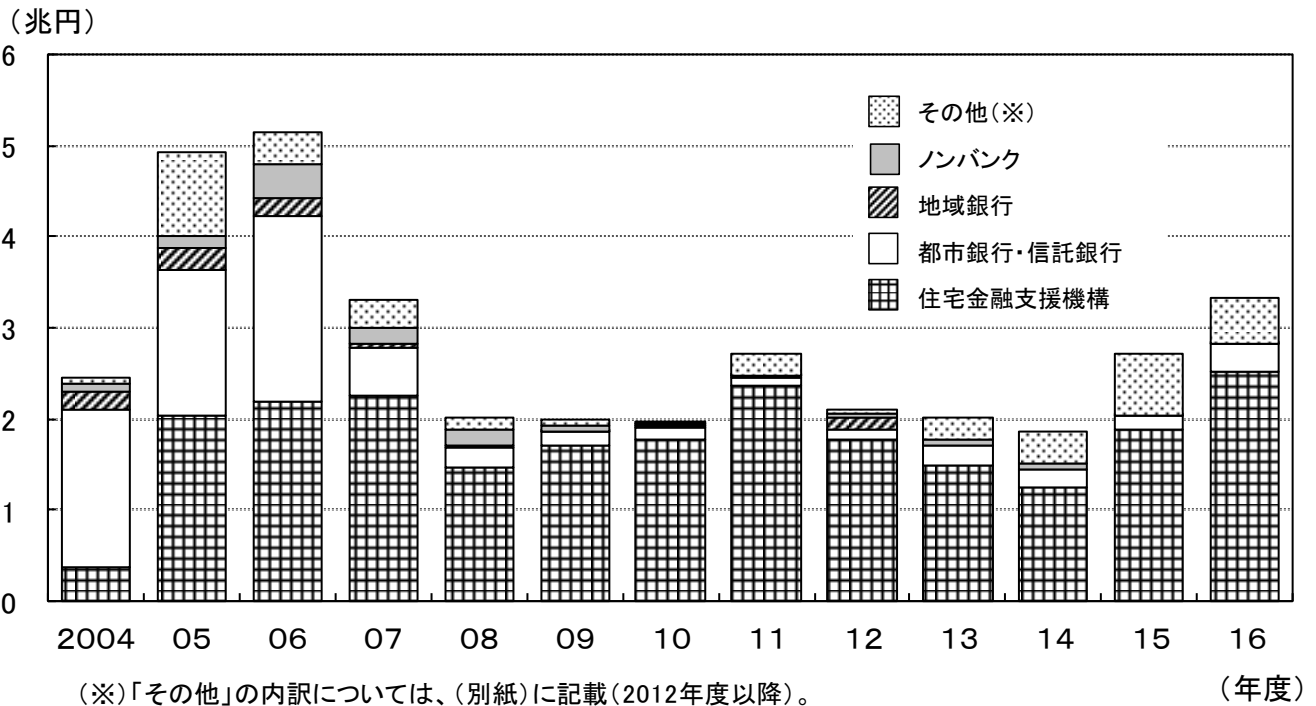
（図表6）証券化商品の「格付」別発行金額



<補足>

① RMBSのオリジネーター別発行金額

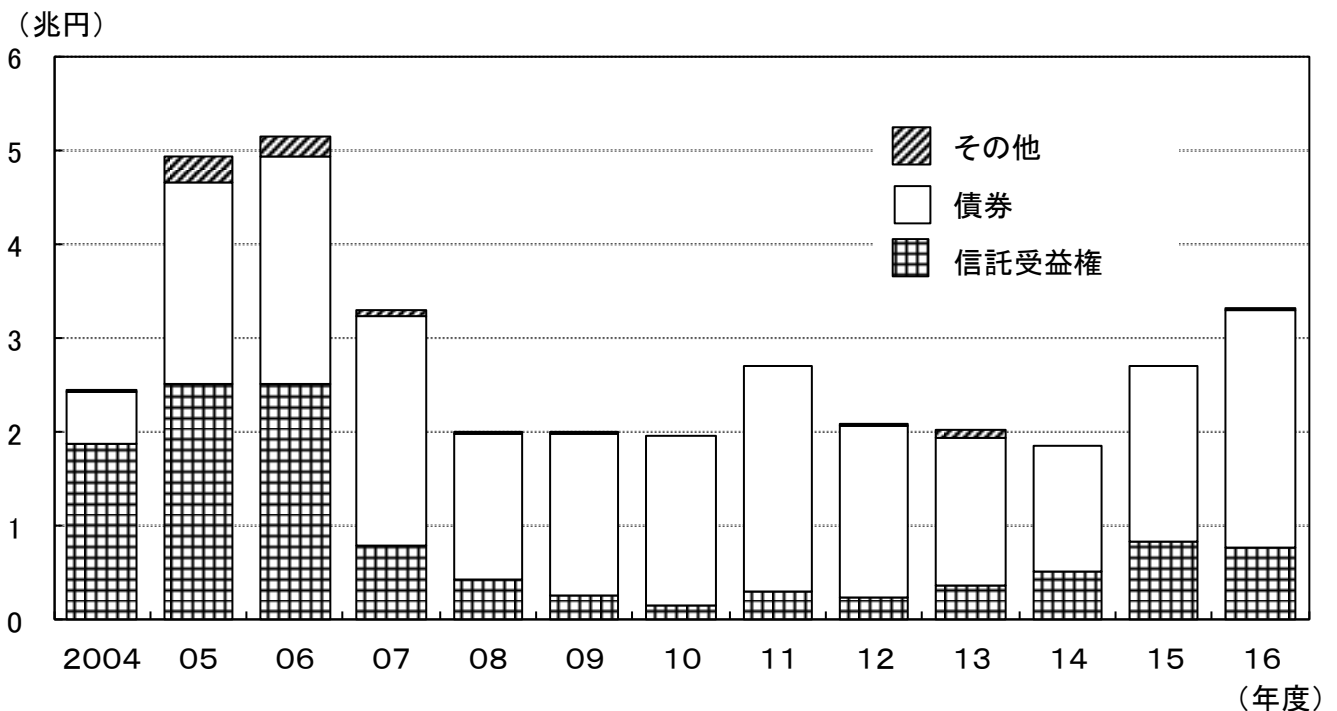
RMBSの発行金額（3兆3,257億円）の「オリジネーター」別内訳をみると、「住宅金融支援機構」が2兆5,280億円（構成比76.0%）と最も多く、次いで「その他」が4,933億円（同14.8%）、都市銀行・信託銀行が2,958億円（同8.9%）であった。（図表7）。



② RMBSの発行形式別発行金額

RMBSの発行金額（3兆3,257億円）の「発行形式」別内訳をみると、「債券」が2兆5,280億円（構成比76.0%）と最も多く、次いで「信託受益権」が7,713億円（同23.2%）であった（図表8）。

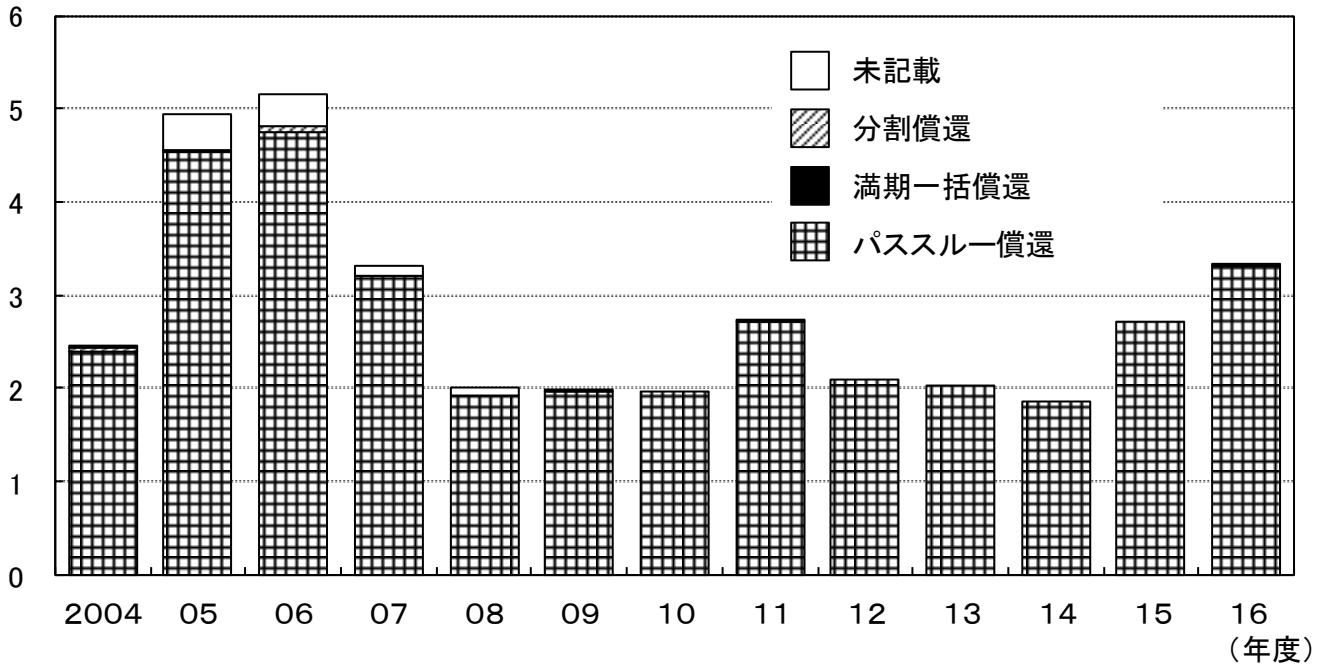
(図表8) RMBSの「発行形式」別発行金額



③ RMBSの償還方法別発行金額

RMBSの発行金額（3兆3,257億円）の「償還方法」別内訳をみると、未記載を除く全てが「パススルー償還」となっており、3兆3,186億円（構成比99.8%）であった（図表9）。

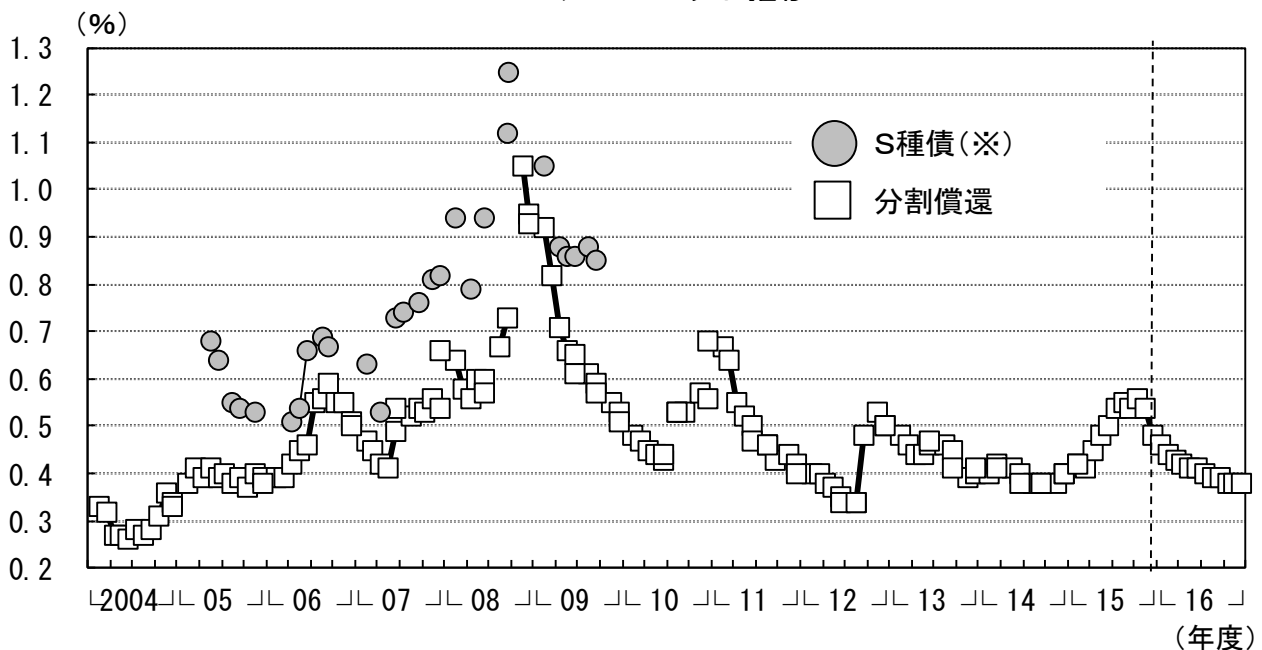
（図表9）RMBSの「償還方法」別発行金額



④ 住宅金融支援機構MBSのローンチスプレッド

住宅金融支援機構MBSのうち貸付債権担保住宅金融支援機構債券（月次債）のローンチスプレッド（表面利率と条件決定時の新発10年国債利回りとの差）は、4月発行分から1月発行分にかけて縮小した後、横ばいで推移した（図表10）。

（図表10）貸付債権担保住宅金融支援機構債券（月次債）のローンチスプレッド推移



※ S種債（旧住宅金融公庫が過去に直接実行した住宅ローンを証券化したもの。）は2009年12月を最後に、発行されていない。

以上